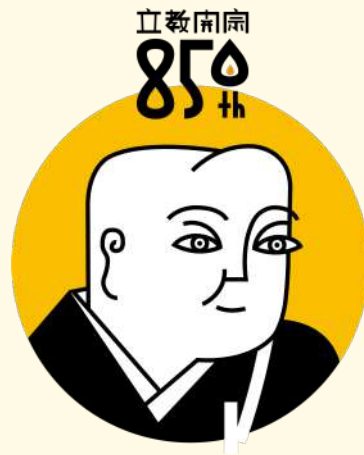


第186号

西光

令和3年6月27日発行



霊閑だより

ういの世に うつる心と あめ模様
～「心のともしび」カレンダー6月のことばより～

坊主のつぶやき ～日常編、法務編～

気になる…

葬儀の引導

門前掲示板

日常に溶け込む仏教語「上品」 ～浄土宗西山勤行式から～

施餓鬼会・お盆参り(棚経)のご案内

お知らせ

霊閑だより



【心のともしび】カレンダー
六月のことばより

皆様にお届けしております「心のともしび」カレンダーの六月のことば「ういの世にうつる心とあめ模様」の意味を教えてくださいというお声を何人かの方に頂きました。確かにこの六月だけ毛色が違います。ストレートな文言ではない分、少々難解です。作者の意図は分かりませんが、私なりに解説してみたいと思います。

なんとなくマイナー調のしつとりとしたバラードソング、徳永英明の「レイニーブルー」なんかが似合いそうです。

レイニーブルーもう終わったはずなのに
レイニーブルー何故追いかけるの
あなたの幻消すように
私も今日はそっと雨

相手の心変わりで互いの関係がうまくいなくなってしまうのでしょうか。相手は恋人でしょうか、親友でしょうか。もう昔のように戻れない、なんとも切ない心境が思い浮かびます。下に描かれた観音さんもどこか物憂げな表情です。

この歌のポイントは漢字でかけるはずの「うい」「うつる」「あめ」をあえてひらがなで書いているところです。つまり一つの言葉に二つ以上の意味を持たせる掛詞かけことばです。

「うい」は憂い・有為、
「うつる」は移る・映る、
「あめ」は雨・天でしょう。

まず「有為」うゐは難しい言葉ですが、この言葉が一番のポイントです。有為は「いろはにほへとく」のいろは歌に出ってきます。

色は匂へど 散りぬるを

我が世誰ぞ 常ならむ

有為の奥山 今日越えて

浅き夢見じ 酔ひもせず

有為はつくられたものという意味ですが、これではピンときません。キリスト教やイスラム教では最初に創造主がいて、人間を含め生命体、そしてこの世界は神の働きで作られたとされます。しかし仏教にはそのような創造主は存在しません。すべてのものは互いの関係によって表れているにすぎず（因縁いんねんというやつです）、常に移り変わっていくものと考えます（無常むじょうという

やつです)。先の歌にも花はきれいに咲き誇っても、いずれは散ってしまうとあります。自分の身体の調子、心の状態もそうです。ずっと絶好調です！なんてことはありません。それは想いを寄せる相手の心も同じです。ずっと同じ気持ちでいてくれるとは限りません。この世のものとは全て**移り行く**のです。私たちは頭では分かっているけど、なかなかそれを受け入れることができません。このような移り変わりを受け入れることの難しさを、先のいろは歌では深い山に例えて有為の奥山と表現しています。

六月といえば梅雨。最近梅雨といえどもゲリラ豪雨のような降り方をしますが、本来梅雨の雨はしとしと降り続く雨です。その降り続く雨に、私のどこか心が晴れずすっきりしない、憂鬱で、落ち込んだ私の心境をかぶせています。私の心を**映し出す**もの、象徴としての**雨**が詠まれています。

ふと外に目をやると、**雨**があたる窓には物憂げな表情の私が**映し出**されているとまで読むのは深読みでしょうか。

最後に「**天**」とはどういうことでしょうか。よく銅像になっている二宮尊徳（金次郎）の歌に

音もなく 香もなく常に **天地は**
書かざる経を くり返しつつ

というものがああります。自然（**天地**）は一言も発することはないけれども、先のいろは歌にあるように花が咲き、散るということを通して、私たちにすべてのものは移り変わるということを教えてくれています。

仏の世界で失恋がテーマでは不謹慎かもしれませんが、仮にこの歌を切ないラブソングと想定し、まとめるとこんな感じでしょうか。

この世に永遠の愛なんてものはない（**有為**の世なんだ）と頭では分かっているんです。でも私にはなかなかそれが受け入れられません。人の気持ちは**移ろい**やすい。あなたも気が変わってしまったんですね。そんな残酷な現実には打ちひしがれる私。窓の外ではしとしと**雨**が降り続けている。まさに私の今の心境を映し出しているようだ。窓に**映る**冴えない物憂げな表情の私。全ては移り変わっていくというこの世の決まり事を、**天（雨）**は私に教えてくれているのだろうか。

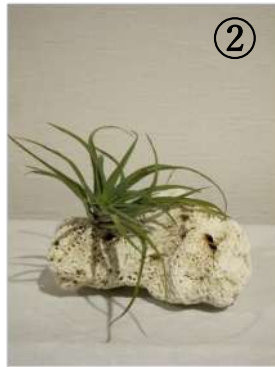


坊主のつぶやき ～日常編～

子供に負けじと…

子供の影響か最近工作をよくする。工作はあまり得意ではないが、子供に負けじと適当にいろいろ作ってみている。中でもエアープランツに凝っている。土が不要で、たまに霧吹きでシュシュっとするだけで手軽である。なかなかオシャレなアイテムで、部屋のアクセントになる。

- ①ティランジア・イオナンタを埴輪のコップにin。なんだか癒される。
- ②ティランジア・イオナンタ with 珊瑚。これはただ乗せただけ…
- ③海岸で拾ってきたキレイな貝殻で作ったモバイル。ティランジア・ウスネオイデスと一緒に吊るすと夏らしい一品に。



潮干狩り

今シーズンは潮干狩りに4回も行ってしまった。毎年行かないと気が済まなくなっている。やり出したらいつの間にか時間が経っている。草引きと一緒にである。子供より真剣になってしまう。宝探しの感覚なのだろうか。



アサリは定番だがお味噌汁かパスタに結局落ち着く。

今年もメダカの季節



メダカの子が今年もたくさん産まれた。親と同じ鉢にいと、お腹が空いた親がせっせと子を食べてしまうので、ほとんど生き残れない。なので藻ごとガサガサ掬って、別の場所に移しておく。次の日にはそこで子メダカがたくさん産まれている。雑なやり方だが、子メダカを増やすには、これが一番簡単だ。この作業をあまりに続けると子が増えすぎるので、止め時が難しい。メダカ欲しい方、どうぞお声がけください、差し上げます。

坊主のつぶやき ～法務編～

SDGs = ホトケの願い？

最近なにかと目にするSDGsということば。これは2015年の国連サミットで採択されたもので、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すべく、「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」「海の豊かさを守ろう」など17の分野毎に示された国際目標だ。地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っている。

「なに!？」これは完全にアミダさんの願いと同じではないか！我々のご本尊の阿弥陀仏の最も大事な願いはまさに「誰一人取り残さない」こと。SDGsは仏教と非常に親和性があるのは間違いなさそう。仏や如来とよばれるお方は「私はこんな世界にしたい」という願**ぼさつ**い（目標）があって、それが達成された暁に、菩薩か

ら仏へレベルアップなさっている。阿弥陀仏の場合はその目標が48個あるのだ。SDGsの17個の目標でさえ「え!?!あと10年くらいでそんなの無理じゃないの?」と思ってしまうが、阿弥陀仏は自分で立てた目標を途方もなく長い歳月をかけて達成されている。私の代わりにそんな大変な修行をされ、見守って下さる。仏と拝む所以がここにある。



姫路市はSDGs未来都市に選出されている。食べずに廃棄される食品ロスを減らそうと、姫路市はこの度、スーパーなどの陳列棚で手前の方から取ってもらう「てまえどり」広告を作成している。

焼香 ～葬儀の現場より～

焼香で気をつけたいのは「急いで雑にしない」この一点だけ。すれ違いざまの挨拶みたく歩きながらご遺族や導師に一礼したり、焼香の場に着く手前から既にお香をつまむ体勢に入るのはどうも落ち着かない。とはいえ、あまり作法や回数に気を取られすぎるとのもぎこちない。焼香の回数は重要ではなく、香を焚くことに意味がある。三回の三は仏・法・僧だと知ったところで、葬儀や法事の際に、誰もそれを気にしない。皆故人を想い、焼香するはず。無難なの

は一回。三回の場合はゆっくりと、丁寧に。まずご尊前で軽く一礼し、お香を少しつまみ焼香をして、最後に合掌して退く。焼香は落ち着いてどうぞ。



気になる…

いんどう

葬儀の引導



時代劇的一幕。「引導をわたしてやる、覚悟せえい」「待ってくれい、お慈悲だから助けてくだけせえ」「おぬしも往生際の悪い奴じゃのう」
ここに出てきた引導・覚悟・慈悲・往生際はいずれも仏教語。今回はこの中の「引導」を取り上げてみたいと思います。「もうあんたも終わりだ、あきらめよ」のようなニュアンスは元の意味にはないようです。早速みていきましょう。

そもそも引導って何？

引導というのは、元は人を「仏の道に引き入れ導く」ことです。引導は僧侶の本分ともいえますが、悩める人々をさとりへの世界へ導いていくことです。しかし今は引導といえは葬儀の中で、故人をお浄土という仏の世界へ導く、こちら側（此岸）からあちら側（彼岸）へ渡す際に、言い渡す言葉という意味で使うのが一般的です。

引導は導師が送る

故人への最後のお手紙

お葬式の中ほどで、座ってお経をあげていた導師が立ち上がり、棺の前まで歩み出て、炬（松明）を持って読み上げているのが引導です。引導は導師から故人への最後のお手紙ともいえるもので、そこには「案ずるな、安心して往けよ」という思いが込められています。引導では、お釈迦さまや先師の教えを経文や法語で示しつつ、煩惱にまみれた私たちでも、仏さま（阿弥陀仏）の願いによって、必ず極楽往生ができることを示します。引導の最初に炬を持つ

て、大きく円を描くのも、故人の極楽往生を願ったことです。円は欠けるところがないことから仏やさとりを表します。仏の国への往生が果たされた姿の象徴として円を描きます。

うん？ 今何を投げたんだ？

引導の途中に「今何か投げたような」と思われた事があるかもしれません。それは引導の最後の言葉を言ったところです。炬を棺に投げ入れたのです。本物の炬を投げ入れるわけにはいきませんので、正確には麻幹などで炬の形に模したものを使っています。かつてはメラメラ燃えている炬で火屋に点火して火葬していたのでしょう。このように炬を持って引導を行い、故人を火葬に付するこの儀式には、智慧の火をもって煩惱の薪を焼くという意味があります。本来何人もの僧侶で執り行う葬儀において、引導は導師のソロパートであり、葬式の中の最も重要な儀式の一つといえます。この引導をもって葬儀式が終わり、続いて遺族・参列者の焼香、いわゆる告別式が始まります。

門前掲示板より

三月

この世には三種の人がある

一、しばしば腹を立て、その怒りを長く持ち続け、怒りが岩に刻みこんだ文字のように消えることのない人

一、しばしば腹を立てるが、その怒りが砂に書いた文字のように、速やかに消え去る人

一、水の上に文字を書いて、流れて形にならないように、少しも心に跡を留めることなく、温和な気の満ちている人

四月

思いを引き継ぐ 思い出を語り合う

それこそが 最大の供養

五月

思は返せるものではない ただ謝するのみ

六月

己れ生ある間は

子の身に代わらんことを念ひ

己れ死に去りて後には

子の身を護らんことを願ふ

(仏説父母恩重經)

一すじに ちかいをたむ あまおぶね

勇 勢 さすにまかせて

(雲龍山西光寺 御詠歌)

日常に溶け込む仏教語

浄土宗西山勤行式から

じょうぼん

【上品】

乗佛本願上品往生
阿弥陀佛国
(佛の本願に乗じて
阿弥陀佛国に上品
往生せん)

(発願文)

「あら上品なお方だこと」

「ほんまにあいつは下品な奴っちゃな」

など、品位・品格・品性などの良い悪いを上品、下品といいます。実はこの上品や下品も仏教用語だったのです。仏教では品はボンと読み、上品はジョウボン、下品はゲボンと読みます。法事等でお読みする『観無量寿経』かんむりようじゆきやうというお経の中に、極楽への往生の仕方が、平生のその人の行い・修行への取り組み、信心の在り方などによって、左記の九通りに分類されて描かれています。

じょうぼんじょうしやう	じょうぼんちゆうじやう	じょうぼんげしやう
上品上生	上品中生	上品下生
ちゆうぼんじょうしやう	ちゆうぼんちゆうじやう	ちゆうぼんげしやう
中品上生	中品中生	中品下生
げぼんじょうしやう	げぼんちゆうじやう	げぼんげしやう
下品上生	下品中生	下品下生

中の上、下の下などと評価することもあるかと思いますが、それはまさにここからきています。上品上生から中品下生までは善人、下品のところでは悪人の往生が説かれています。「自分はまあ中の上くらいやろう」と思って浮かれてはいけません。人はいつ何時、下の下の行いをしてしまうかもしれない。しかし大事なものはそんな救いどころのない者でも、仏さまは見捨てないということです。この九通りの往生往生の仕方を描いた絵がおもしろいので、次頁でその一部を紹介いたします。



上品上生



仏の教えや戒を守り、実践している非の打ちどころのないような人のもとには、阿弥陀仏（眉間から光線が出ている方）その他観音・勢至の両脇侍、無数の化仏・菩薩・僧侶、天人、そしてまさかの宮殿までもがお迎えに来られています。

中品下生



中の下の方は、生きていた間に、仏教には縁がなかったけれども、人並みの道徳家で、両親によく孝養を尽くされた人とあります。だいが数は減りましたが、阿弥陀仏と僧侶が二人お迎えに来られています。上品上生のような化仏や菩薩は見当たりません。

下品下生

これはなかなか酷い様子です。右下では母を後手に縛って殺そうとしています。その左横では僧侶が首枷をはめられ殺されようとしています。その左下では塔婆を燃やし、魚を焼いています。その上では、礼盤（導師が本尊前で読経する際の高座）の上で肉を切り、左側の仏像の光背には切った肉がのっています。これは五逆という最も罪深いことをしている人の様子が描かれています。しかしそんな者でも臨終にあたって、日輪（建物の中で横になって寝ている人の左上の丸い輪っか）がお迎えに現れます。仏や菩薩の姿はありませんが、これも確かに仏のお迎えであることには変わりはありません。



お盆はご先祖のお参り

せがきえ

施餓鬼会のご案内



コロナへの不安は依然としてある状況ですが、感染防止策を十分にとりながら本年度の永代・一般大施餓鬼会を執り行います。暑い時ではございますが、皆様のお参りをお待ちしております。今年から本堂にエアコンを入れましたので、快適にお参り頂けます。当日体調がすぐれなかったり、やはり外出はまだ心配だという方には、代わりに住職が焼香を承ることもできます。気になることがありましたら、寺または住職までご相談下さい。

どなたでもお参りいただけます

一般大施餓鬼会

八月十六日(月) 午前六時～

※受付は十一時まで

上記の時間内でご都合のよい時にお越し下さい。受付順にご回向致します。回向料は一霊につき三千円です。塔婆回向のお申込みは、前日までに寺までお申込み下されば幸いです。他所の方は柵経の時にお預かり致します。

永代供養をおあげ頂いている皆様へ

永代施餓鬼会

八月七日(土) 午前六時～

※受付は十一時まで

永代供養をおあげ頂いている方へは別途ハガキにて、永代施餓鬼会のご案内をさせて頂きます。他所の永代施主家の皆様はこの『西光』のご案内を同封しております。

尚、お参りにみえない場合でも、住職が代わりに焼香の上、お参りさせて頂きます。

8月の盆行事・お盆参り(棚経)

ご案内



- 1日 (日) 大阪
- 2日 (月) 加古川・加古郡・明石・神戸 (垂水区)
- 3日 (火) 救鱗寺 施餓鬼会出仕
姫路 (飾磨・夢前方面) (午後～)
- 4日 (水) 神戸 (垂水区・須磨区・長田区・兵庫区)
- 5日 (木) 神戸 (西区・北区・中央区・灘区) ・芦屋・西宮
- 6日 (金) 姫路市内・太子
- 7日 (土) 当山 永代施餓鬼会
- 8日 (日) 高砂・加古川平津
- 9日 (月) 蓮華院 施餓鬼会出仕
- 10日 (火) 的形、木場、八家、東山、白浜 (7時～)
- 11日 (水) 西岸寺 施餓鬼会出仕
- 12日 (木) 大鳥・佐土・御着・国分寺・佐土新 (7時～)
北脇・西浜 (午後～)
- 13日 (金) 大塩町内 (中ノ丁・西ノ丁) 6時～
- 14日 (土) 大塩町内 (東ノ丁・宮本丁) 6時～
- 15日 (日) 観音寺 施餓鬼会出仕
- 16日 (月) 当山 一般大施餓鬼会
- 23日 (月) 地藏盆 (大塩各丁・的形岩鼻 地藏堂参り)

※8月の月参り (お速夜参り) はお休みを頂きます。

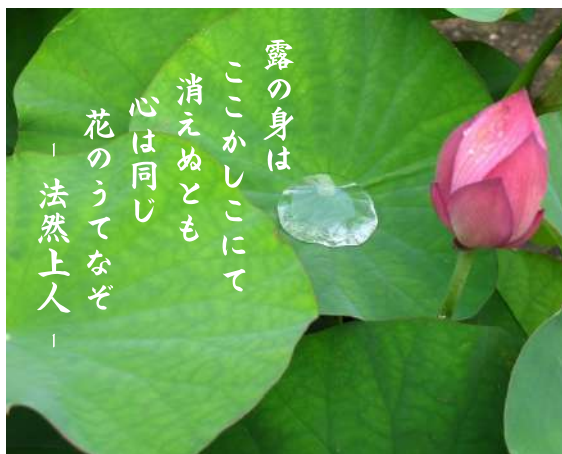
ご逝去の報

西ノ丁	梶原哲雄さん	77歳	3月7日没
東ノ丁	濱田政弘さん	87歳	3月8日没
宮本町	湯谷哲弘さん	88歳	3月11日没
曾根	小南幸夫さん	80歳	3月15日没
宮本町	齋藤壽美さん	79歳	3月17日没
横浜	瀬田晃代さん	57歳	3月18日没
中ノ丁	梶原菊子さん	88歳	3月21日没
宮本町	山本節子さん	84歳	3月23日没
姫路	福澤信彦さん	69歳	4月1日没
中ノ丁	生嶋省三さん	73歳	4月3日没
神戸	白木みつゑさん	92歳	4月13日没
西ノ丁	石原作子さん	97歳	4月25日没
中ノ丁	大谷浩二さん	57歳	5月13日没
西ノ丁	生嶋賢一さん	74歳	5月26日没
中ノ丁	赤尾晃さん	92歳	6月3日没

編 集 後 記

ついに待望の…

本堂にエアコンをいれました！広い本堂でどこまで効くのか心配しましたが、動力で馬力の強いものを二基設置したおかげで、よく効いてくれている気がします。これでお盆の施餓鬼会も皆様に修行のような暑さに耐えてもらわなくても済みます。暑い夏や寒い冬の時期のお葬式や法事も心穏やかに勤め頂けそうです。冷房の効いた本堂で寝ころびながらオリンピック期間中一日中パブリックビューイングできたらなーという妄想をしながら、今年もお盆参りを頑張って参ります。



『西光』186号 令和3年6月27日発行



浄土宗西山禅林寺派

雲龍山 西光寺 住職 大塚靈閑

〒671-0101 姫路市大塩町229

Tel 079-254-0351 Fax 079-254-4142

